

## たかがシーツ、されどシーツ！ 清潔なシーツで眠りたい！

地区分会は、東京駅、品川駅、新横浜駅に所属する各組合員から要望のあった主に営業関係の職場諸要求をまとめ、現在、新幹線地本を通じ申し入れのための精査を行っている。

組合員からは、特に待遇改善面、とりわけ衛生面において駅員の使用する寢室の寝具（シーツ、枕カバー、浴衣）の交換時期についての要望が多く出されていた。

同じ駅業務（輸送、営業、乗客、遺失物）であるのに、たとえば新横浜駅では輸送、乗客・遺失物共に「シーツは毎日交換しているようだ。シワなどは見当たらない」となっており、若い社員の多い品川駅はどのパートも「シーツ交換は毎日ではない。気持ち悪いので毎日交換して欲しい」、「衛生的にも他人の寝汗の付着したシーツは勘弁して欲しい」との若い駅員からの切実な声があがっている。新陳代謝の盛んな年齢層である彼らにとってこれは当たり前のことであろう。

一方、東京駅ではこのどちらでもないらしい。営業3科は毎日シーツ交換しているようだが、輸送の駅員からは「毎日交換はしていないようだ」、「前に聞いたが、週3回交換だったと思う」と理由はわからぬが輸送は営業3科とシーツ交換の時期が違うようだとの声が返ってきている。

各人が前日の仕事が終わってから入浴してからの就寝であったとしても、人は一晩にコップ一杯半の寝汗をかくと言われている。シーツはそれを吸収するからシーツとしての役割があるのだ。そんなシーツの再使用は老若男女問わず金輪際やめてもらいたい。

今はSLの走っていた時代ではないのだ。2009年現代の衛生意識に立脚した当たり前の要求として全職場の寢室のシーツ、枕カバー、浴衣の毎日交換を求めるとともに、一部上場企業の名に恥じない寢室環境の改善を社員の総意として要求する。

## 前時代的な駅の寢室環境を改善し、 衛生面を最優先した寝具の提供を求める！